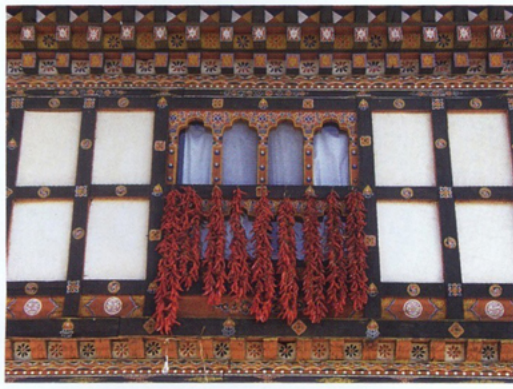


番外編 世界一

幸福な国は、世界一辛い国？



100人のうち97人が自分を幸福だと言い、「GNPよりもGNH(国民総幸福度)」を国是に掲げる国、ブータン。国民60万人に「幸せ」と言わせる甲斐性ものの顔が見てみたい、と五代目国王の戴冠式に馳せ参じて参りました。祝賀ムードの街はどこに目をやっても王様の顔、顔、顔。そして老若男女誰に聞いても「ラブ♡王様」。まさに激モテである。なるほど、記念式典でお会いした28歳の新国王は驚きのイケメン。しかも集まった何万人という国民一人一人に記念コインを手渡しで授与。「モテる男はママ」という法則に貴賤はなし、を痛感させた。

このきつと世界一幸福な国のもうひとつの「きつと世界一」が、料理の辛さ。国民食ともいえる料理が青唐辛子のチーズ煮込み、エマ・ダツイはルックスこそクリーミーなのだが、口に含むとズキーン。「お好みで」と勧められた薬味の山椒は蓋を取った瞬間、刺激が目を直撃！辛いより痛いワ。

米どころブータンの食事は辛い料理をおかずに大量にご飯を食べ

きつと世界 輝かしい賞を獲るシェフ

09年1月にフランス・リヨンで開催される、世界最大規模の「シラ国際外食産業見本市」。展示やデモンストレーションのほか、大小30もの国際コンクールが行われる。その一つ「モンドリアル・デュ・パンコンクール」に神戸「ブランジェリー コム・シノワ」の西川功晃シェフ、「ボキューズ・ドール国際料理コンクール」に神戸ポートピアホテル「アランシャベル」料理長補佐の佐々木康二シェフが出演する。関西から2名が日本代表となった快挙。本戦では「きつと世界一」ですね？



西川シェフ(左)と佐々木シェフ(右)。さしあたっては「ほんとに日本一」のお二人です。